

第77号

本巢市議会だより



▲大型遊具やドームテント等の整備が進む(仮称)本巢PA周辺公園

contents

- 令和4年第5回定例会開かれる ……P. 2
- 審議結果 ……P. 3
- 10人が一般質問に立つ ……P. 4
- 委員会活動 ……P. 9
- 越前市との行政懇談会 ……P.11
- 特集(生徒会・児童会サミット) ……P.12

●発行:本巢市議会 ●TEL:0581-34-5027 ●2023年2月1日



行政情報アプリ「マチイロ」
スマホやタブレットにアプリで議会だよりを
お届けします。



本巢市議会だよりは議会ホームページから
もご覧いただけます。



令和4年第4回臨時会開かれる

11月10日、令和4年第4回臨時会を開き、報告案件1件、専決処分の承認1件、補正予算1件、その他4件について審議・決定しました。

- 専決処分の報告について(本巣市富有柿の里敷地内事故に係る損害賠償)
- 専決処分の承認を求めることについて(令和4年度本巣市一般会計補正予算(第6号))
- 令和4年度本巣市一般会計補正予算(第7号)について
- 織部の里もとす及びうすずみ特産販売所の指定管理者の指定について
- NEOキャンピングパークの指定管理者の指定について
- 土地の処分について(温井地区企業用地)
- 堀部好秀議員に対する議員辞職勧告決議について



● 審議結果および各議員の表決 ●

【表示記号】 「○」…賛成 「×」…反対 「-」…欠席・除斥等による不参加 「/」…議長のため採決に加わらない

令和4年第4回臨時会																		
議案番号・議案名等		議決結果	高橋知子	瀬川照司	飯尾龍也	片岡孝一	高橋時男	高橋勇樹	今枝和子	高田浩視	河村志信	堀部好秀	鏑本規之	黒田芳弘	白井悦子	道下和茂	大西徳三郎	
市長提出議案	発議第2号 堀部好秀議員に対する議員辞職勧告決議について	可決	○	○	○	○	○	×	×	○	○	-	○	○	×	×	/	
令和4年第4回臨時会 (全会一致で可決された議案)																		
市長提出議案	報告第13号 専決処分の報告について(本巣市富有柿の里敷地内事故に係る損害賠償)	市長提出議案	議案第55号	NEOキャンピングパークの指定管理者の指定について														
	報告第14号 専決処分の承認を求めることについて(令和4年度本巣市一般会計補正予算(第6号))		議案第56号	土地の処分について(温井地区企業用地)														
	議案第54号 織部の里もとす及びうすずみ特産販売所の指定管理者の指定について		議案第57号	令和4年度本巣市一般会計補正予算(第7号)について														

【表示記号】 「○」…賛成 「×」…反対 「-」…欠席・除斥等による不参加 「/」…議長のため採決に加わらない

令和4年第5回定例会																		
議案番号・議案名等		議決結果	高橋知子	瀬川照司	飯尾龍也	片岡孝一	高橋時男	高橋勇樹	今枝和子	高田浩視	河村志信	堀部好秀	鏑本規之	黒田芳弘	白井悦子	道下和茂	大西徳三郎	
市長提出議案	発議第3号 道下和茂議員に対する議員辞職勧告決議について	可決	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	-	/	
令和4年第5回定例会 (全会一致で可決された議案)																		
市長提出議案	議案第58号 督促手数料を廃止するための関係条例の整備に関する条例について	市長提出議案	議案第67号	令和4年度本巣市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について														
	議案第59号 本巣市職員の高齢者部分休業に関する条例について		議案第68号	令和4年度本巣市水道事業会計補正予算(第2号)について														
	議案第60号 本巣市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について		議案第69号	令和4年度本巣市下水道事業会計補正予算(第1号)について														
	議案第61号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について		議案第70号	令和4年度本巣市一般会計補正予算(第9号)について														
	議案第62号 人事院勧告に伴う関係条例の整備に関する条例について		議案第71号	令和4年度本巣市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について														
	議案第63号 財産の無償譲渡について(旧本巣市中野会館)		議案第72号	令和4年度本巣市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について														
	議案第64号 市道路線の廃止及び認定について		議案第73号	令和4年度本巣市水道事業会計補正予算(第3号)について														
	議案第65号 令和4年度本巣市一般会計補正予算(第8号)について		議案第74号	令和4年度本巣市下水道事業会計補正予算(第2号)について														
	議案第66号 令和4年度本巣市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について		議案第75号	土地の取得について(浅木地区企業用地)														

Q & A

● 一般質問 ●

12月定例会

10人が一般質問に立つ



高橋時男

Q 自治会の加入状況と課題について

年々自治会の加入が逡減して
おり、加入促進の取り組みが必
要と考えます。

Q1 市として自治会の必要性・重
要性の認識は

A1 自治会の役割は極めて重要で
必要不可欠と認識しています

原・総務部長

地域コミュニティの中心的な
役割や、新たな地域課題にも対
応していただいています。

Q2 自治会の加入状況とその推移
(傾向)は

A2 令和4年の加入率は87.2%と
なっています

加入率は、ほぼ前年よりも減
少して推移しています。

Q 民生委員・児童委員の現状
と負担軽減について

民生委員・児童委員の負担軽
減が必要と考えます。

Q1 民生委員・児童委員の活動に
対する周知は

A1 市ホームページに職務を掲載、
担当窓口にパンフレット設置

小椋・健康福祉部長

改選年度には、市広報誌に氏
名と担当地域を市民に紹介して
ます。

Q2 タブレット端末や民生委員協
力制度導入による負担軽減は

A2 現時点では、導入は考えてま
せん

今後、委員の方々のご意見を
伺いながら、必要に応じて検討
します。

Q 成年後見制度の周知と利用
促進について

高齢社会の対応と福祉の充実
を図る上で、成年後見制度の利
用促進が必要と考えます。

Q1 市民後見人の養成についての
本市の考えは

A1 養成について、その必要性は
認識しています

小椋・健康福祉部長

実務実習や質向上のため、研
修など高い専門性が求められて
いることから、今後「一般社団
法人ぎふ権利擁護センター」な
どと協議を進めながら養成につ
いて検討します。



高橋勇樹

Q 市支給の小中学生自転車へ
ルメットについて

毎年、市内各小中学校の新1
年生を対象に支給しているヘル
メットは、自転車用のものでは
なく自転車乗車において安全性
を確保できないことから、安全
認証を受けたものへの変更を願
い質問します。

Q1 市が児童へ支給するヘルメッ
トの変更の考えは

A1 安全基準に適合した自転車乗
車用ヘルメットに変更します

原・総務部長

今後、新小学1年生及び中学
1年生に支給するヘルメットが
対象です。

Q2 既に支給したヘルメットの交
換の考えは

A2 安全基準に適合したものに交
換する予定はありません

現在、県が児童生徒等を対象
としたヘルメット購入にかかる
補助金制度の導入を検討してま
すので、この制度を活用するこ
とを今後市として検討します。



(一例)SGマーク付き
自転車乗車用ヘルメット



支給されている
ヘルメット

Q ふるさと納税事業について

Q1 本年度のふるさと納税額の予
測額は

A1 昨年度受領した寄付金額とほ
ぼ同額を見込んでます

高橋・企画部長

11月末現在、寄付件数は2万
3537件、寄付額は約3億9
742万5千円となっております、
昨年度の同時期と比較して、件
数・金額ともにわずかに上回っ
ておりますが、ほぼ昨年度と同
額の7億6000万円を見込んで
ます。

*その他、「出品者数の増減の傾向
は」「ふるさと納税係の人員数は適正
か」「民間人材の活用の見解は」の質
問をしました。

●一般質問●



今枝和子 (公明党)

Q SDG's目標3 すべての人に健康と福祉を

ピロリ菌を中学時に除菌することで胃潰瘍・胃がんの予防効果はかなり高くなります。また本市では65歳〜75歳の10年間で健診の空白期間となり70歳の追加が必要であると考えます。

Q1 市内中学生にピロリ菌検査導入の見解は

A1 来年度以降の実施に向け検討

青山・教育委員会事務局長

Q2 带状疱疹ワクチン接種費用助成の見解は

A2 来年度以降の実施に向け検討

小椋・健康福祉部長

65歳以上の高齢化率が3割を超える本市においては、加齢が原因となる带状疱疹を予防することは、高齢者の生活の質の向上に繋がると考えます。

Q3 節目健診対象年齢の見直しと「物忘れチェック」導入は

A3 自己チェックで行える簡易な「物忘れチェック」を導入

Q 市内幼稚園における「コトトベッド」導入の見解は

メッシュの布が張られた簡易

ベッドである「コトトベッド」の導入により、お昼寝布団が不要となり保護者の負担が軽減されると考えます。

A 保管場所や財政負担の軽減などを研究・検討

青山・教育委員会事務局長

Q 災害協力井戸登録制度導入の見解は

災害等による断水時、生活用水の不足が懸念されます。無償提供して頂ける個人所有の井戸を募集・登録することで災害時の生活用水が確保できます。

A 災害井戸登録制度の導入に向けて検討

原・総務部長

Q 「出産・子育て応援交付金」について

全妊婦を対象に、妊娠期から育児期まで一貫して寄り添う相談体制の整備と経済的支援を一体的に実施するものです。孤立を防ぎだれ一人置き去りにしない事業となるよう願います。

Q1 年度内の事業開始見通しと市の伴走型相談支援の見解は

A1 速やかに国基準へとバージョンアップし年度内に開始予定

小椋・健康福祉部長



河村志信

Q 放置されている席田用水の魅力再発掘について

農水省の疎水百選であり、本巢市の魅力ともなる席田用水山口の頭首工から乙井樋門の間は、放置され雑草が生い茂っています。桜の並木もツルが巻いて悲惨な風景となっております。

Q1 ほたる公園の川の中にアシヤススキが繁茂している要因は

A1 営保護条例対象区間で現環境での管理を継続してまず

高木・産業建設部長

繁茂が著しいことにより公園や周辺の景観上、問題があり、ホテルに関する有識者や河川管理者である県の意見も聞きながら適切な管理ができるよう検討します。

Q2 用水沿いの桜並木の維持管理はどのようになっていますか

A2 安全面を優先に剪定業務や害虫駆除を実施しています

桜の木は、老木化していますが開花期には多くの方を魅了します。限られた予算の範囲内で、道路の通行の支障になる場合など、倒木等の恐れがある場

合には、撤去を含めた維持管理を実施していきます。

Q 越前市や栃木県下野市との友好都市について

令和4年の3月より、淡墨桜の縁で栃木県下野市と友好都市となりました。

Q1 友好都市締結に当たり主旨や狙いはどのような点にあるか

A1 地域の振興、活性化に結び付くことを想定してまず

高橋・企画部長

相互の市民同士（市民レベル）の文化や歴史、観光面での交流など幅広い分野で交流を図り、越前市とは「たけふ菊人形展市民ツアー」を開催しています。

Q スポーツ観光について

Q1 トレイルランニングの導入は

A1 トレイルランニング的な視点も検討し充実させます

青山・教育委員会事務局長

様々な種類の地形や環境で多くの市町で行われていますが、本市では86%の面積を占める森林や根尾川などの自然を活かした「ウォーキング・ランニング」イベントを実施しています。

● 一般質問 ●



鰐本規之

Q1 仏生寺水路改良工事中止に至る経緯について

Q2 工事をを行うと決めた経緯は

A1 財源を確保できたことにより実施することに決定

高木・産業建設部長

道路等の浸水被害があり、平成18年度からの自治会要望により、水害対策や通学路整備を含めた計画を立案し工事の実施を決定しました。

Q2 入札に至るまでの経緯は

A2 自治会長等に対し、事業計画・工事予定を説明

請負業者決定後に工事説明会を実施することで了承を得て、工事の入札を行いました。

Q3 中止に至るまでの経緯は

A3 自治会から了承を得た方法に対し再検討の意見があり中止

既存水路を存置する方法で自治会から了承を得ました。しかし、子どもの安全安心のため歩道整備を含め再度の検討の意見があり、工事施工の検討を幾度となく重ねましたが、本工事は施工が困難となる事から8月21日地元説明会を開催し施工の

中止を説明しました。

Q4 中止になった原因とその責任について

A4 請負業者決定後に地元説明会を行ったためと考えてます

工事により施工後の状況が大きく変わる場合は詳細な設計を行う前に地元住民の理解を得て設計工事発注を行い、同様の事案が起こることの無いように努めます。

◎ 大和園の民営化について

単年度収支で赤字の状況を、当時のもとす広域連合議会老人福祉委員会委員長（本巢市）、副委員長（瑞穂市）メンバーによる改革により黒字化し現在に至っています。しかし、今後10年間に施設の老朽化等で多額の資金が必要になると思われます。

Q1 本巢市にある施設であり市としての見解は

A1 セーフティネットの役割を安定的に果たす唯一の施設

大野・副市長

老朽化に伴う将来における多額の更新費用は重要な課題として認識しています。広域連合を組織する3市町の共通課題として将来の在り方について民営化も含め、議論を重ねます。



黒田芳弘
(市政自民クラブ)

Q 現状把握と要因解析に基づく今後の少子化対策

対策の効果が発揮できない現状の見直しが必要と考えます。

Q1 本巢市実施の少子化対策は

A1 結婚、妊娠・出産への支援、経済的支援を実施

小椋・健康福祉部長

Q2 本市の特殊出生率の推移は

A2 平成23年には1.36人、令和2年度は1.16人

10年間で0.20人減少し、出生数は、平成23年では271人、令和2年では163人となっており、10年間で108人減少しています。

Q3 現状把握と要因解析の見解は

A3 大変深刻な状況と認識し、国の評価結果と同様と考えます

Q4 効果発揮へ今後の対策は

A4 動向を注視し、成功事例を検証し、環境整備に努めます

Q 都市圏への一極集中問題

地方活性化どころか存続さえ危惧する深刻な問題です。

Q1 高卒後の進路や定住状況は

A1 住民票を移されない方もあり、

詳細な把握は出来てません

高橋・企画部長

Q2 若者の定住を導く取り組みは

A2 市外からの転入者に補助金交付し移住定住を促進してます

Q3 卒業後、本市へ戻る若者に子育て支援とリンクした施策は

A3 奨励金制度の創設を検討します

Q インターチェンジ開通に向けた観光戦略について

開通を間近に控え、集客へ結び観光戦略が急がれます。

Q1 プームのキャンピングを市の遊休地で積極的に展開しては

A1 市場調査を含め、民間事業者からの提案を進めます

大野・副市長

Q2 民間キャンピング施設開発への行政支援は

A2 適正な森林利用を図るため情報提供等行政支援を行います

高井・林政部長

Q3 地域活性化へつなぐ、旧根尾小学校施設の有効的利活用は

A3 有効的利活用については、年度内の公募に向け準備中です

青山・教育委員会事務局長

Q4 船来山のフラワーパーク化は

A4 景観や環境の維持・向上を検討し、船来山を整備します

● 一般質問 ●



道下和茂

Q 克雪対策について

根尾地域は高齢化が進み、危険な作業の雪下ろしや民地での除排雪作業が年々困難な状況です。特別措置法の活用により住民の安心安全な暮らしに繋がります。

Q1 地域安全克雪方針策定事業に
取り組む考えは

A1 方針策定には3年程度の期間
が必要になります

高木・産業建設部長

迅速かつ効果的に対応するため、方針策定でなく過疎債等の活用を検討します。

Q2 過去5年間の実績、事業メニューの追加の考えは

A2 地域住民のニーズを踏まえながら検討します

小椋・健康福祉部長

屋根雪下ろしが20件、庇補強が7件です。固定アンカーや鋼釘による庇葺替えは関係部局と連携を図り検討します。

Q3 安全克雪事業の取り組みは

住宅の改修や墜落防止アンカー設置は、死傷事故防止や過疎化防止にも繋がります。

A3 地域に即した事業による対策を検討します

高木・産業建設部長

民地の除排雪に迅速かつ効果的な対策を検討します。

Q 新庁舎への公共交通アクセスについて

利便性向上や公共交通の本巢市の玄関口としての整備は必要です。

Q1 来庁者や通勤通学等の利便性向上に、踏切設置の考えは

A1 多大な投資が必要になります

原・総務部長

新庁舎が開庁した後、利用者の意見等を踏まえ、費用対効果の高い手法の検討します。

Q2 安全確保のために道路改良の考えは

予想される既存道路は、歩道がなく、庁舎前道路を樽見鉄道まで延長し歩道付きの道路改良は必要と考えます。

A2 来年度策定予定の第3次本巢市道路網計画の中でも検討

高木・産業建設部長

Q3 駅前広場を整備しパークアンドライドとしての活用は

A3 ホーム改良や踏切の設置と併せて、検討します

原・総務部長



高橋知子

Q 学校用タブレットについて

現在使用中のタイプは本体が重く処理速度が遅いと考えます。

Q1 タブレットの使用状況は

A1 オンライン授業、日常の授業校外との交流等活用してます

青山・教育委員会事務局長

ネットワーク接続の遅延課題については早急に対応します。

Q2 現在のタブレットを更新する予定は

A2 令和8年度から計画的な更新を検討します

現在の機種は、中学生のアンケートで90%以上が使いやすいと回答。2億数千円必要となる更新費用には財政支援を国に要望し、今後の機種選定は、総合的に判断します。

Q 子どもに関する総合的な窓口の開設について

Q1 新庁舎に子どもの総合的な窓口を開設する考えは

A1 今の取り組みを継続しワンストップ窓口化充実に努めます

大野・副市長

Q2 国のこども家庭庁にあたるような課を設置する考えは

A2 時期も含め、必要に応じて検討します

大野・副市長

Q 危機的な少子化について

市の出生数は合併直後は毎年300人前後だったのに対し令和元年度178人、2年度166人、3年度155人という大変危機的な減少が続いているので、今こそ本巢に実人数の改善を見込む新しい対策が必要では。

Q1 市の少子化の現状に対しての考えは

A1 社会全体で大胆に強力に進めべき喫緊の課題

大野・副市長

Q2 地域少子化対策重点推進交付金の活用は

A2 婚活サポート事業や新婚世帯の新生活コスト軽減に活用

Q3 来年度以降の出生数を増やすための新しい政策は

A3 出産・子育て応援交付金事業を速やかに実施

Q4 これまでの取り組みとは異なる新しい政策の考えは

性教育の充実、東洋医学への不妊助成、今の子どもと子育て世代の意見を政策に入れては。A4 提案された事業内容も参考に効果的な対策を検討します

● 一般質問 ●



飯尾 龍也

令和3年度児童生徒の問題行動等の調査結果について

Q1 本巢市における令和3年度の調査の状況は

A1 全国、本市ともに、小学校における暴力行為の件数が増加

川治・教育長

いじめについては、小学校、中学校ともに認知件数は全国よりもかなり少ない傾向にあります。

Q2 問題行動への教育委員会と学校現場における対応は

A2 あらゆる関係機関と連携し、その子どもと向き合っています

「困った子」ではなく当の本人が最も「困っている子」として捉え、学校と一体となり「愛情」と「正義」をもって粘り強く指導する体制を整えています。

Q 多面的機能支払制度事業について

Q1 本市においての中間評価は

A1 地域コミュニティの強化や地

域農業に貢献していると評価

高木・産業建設部長

農業用施設（用水路）等の維持修繕や、地域住民全員参加によるクリーン活動・非農業者参加の除草作業に参加するきっかけに役立っています。

Q2 具体的な問題改善策は

A2 「活動組織の広域化」を検討

制度創設時は39組織が活用し今年度は26組織と減少。活動組織の広域化の推進は、集落間連携により活動を継続することが可能となり、事務作業の集約化により、各集落の負担の軽減が図れます。

Q 特別交付税の内訳状況について

Q1 本市の特別交付税の内訳は

A1 地域交通に係るものや地域おこし協力隊員の報償費等

高橋・企画部長

樽見鉄道(株)の施設整備費、岐阜乗合自動車(株)が運行する「大野穂積線」の路線維持費に要する経費、その他に生徒の通学定期補助金などの遠距離通学対策に要する経費です。

Q2 原油高騰対策生活者・事業者支援は

A2 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用



片岡 孝一

Q 道路や歩道の市民の安全確保について

Q1 全国では、通学路で事故が発生してから、安全対策を再度見直されていますが、事前に、随時、安全対策ができるために。

Q2 安全確認するための本巢市の現在の取り組みは

A1 建設課週一回・維持修繕委託業者が月二回安全確認を実施

高木・産業建設部長

Q2 交通量が多い通学路や横断歩道等の安全確認・安全対策は

A2 地元自治会から改善要望をいただき通学路改善会議を開催

原・総務部長

Q3 道路が狭く危険な場所に通学路注意看板や路面標示は

A3 ガードパイプやカラー舗装、路面標示、歩道整備等実施

高木・産業建設部長

通学路以外の場所についても、要望書が提出され実施すべきと判断した場合は、予算の範囲内で早急を実施しています。

Q 地域の活性化のための健康増進のまちづくりについて

少子高齢化が進んでいく中、

地域の担い手である住民が、健康維持・社会参加するために、高齢者や障害者の健康意識を高め、自らの手で運動習慣を身につけるために。

Q1 本巢市の取り組みは

A1 自主的で積極的な健康作りやスポーツへの取り組みを応援

小椋・健康福祉部長

Q2 脳や身体を元気にする教室の取り組みの成果は

A2 認知機能や体力の向上に一定の効果があり継続します

Q3 健康増進のまちづくりのための今後の対策と予定は

A3 KDBシステムを活用し健康課題の分析や対象者の把握

ぎふすこやか健診受診者に対する糖尿病の重症化予防の取り組みやKDBシステムなどを活用し、保健、医療、介護の情報連携による健康状態不明者の把握、また、各地区で実施している転倒予防教室の参加者に質問表の記入を依頼し、その結果を基に低栄養や筋力低下等の状況に応じた保健指導や、生活機能向上に向けた支援に努めます。
*KDBシステム・・・国保連合会が管理する国保データベースシステム

● 委員会活動 ●

総務企画委員会

付託案件 主な質疑の内容

○ 督促手数料を廃止するための関係条例の整備に関する条例について

Q: 督促手数料に係る前年度の実績は

A: 令和3年度の督促手数料の実績については、市税1,279,800円、国民健康保険税476,000円、後期高齢者医療保険料73,600円でした。

Q: 廃止に伴う事務負担等の軽減内容は

A: 金融機関による督促手数料等の確認事務が来年度から無くなるため、金融機関で督促手数料を徴収できなかった場合、督促手数料のみの納付書を再度発行することとなるため、事務及び経費の軽減を図ることができます。また、市民の方も督促手数料のみを支払いに行かなくてはならないこととなるため、市民の方にも余分な納付の手間や負担がなくなります。

○ 本巢市職員の高齢者部分休業に関する条例について

Q: 高齢者部分休業を選択され、勤務された部分について、退職金に上積みされるのか

A: 高齢者部分休業で勤務する場合、職員として身分を引き継がれるため退職金に上積みされます。

Q: 高齢者部分休業からフルタイム勤務への変更は可能か

A: フルタイムの勤務への変更は可能です。

Q: 高齢者部分休業で休業した部分にも給料は支給されるのか

A: 休業された部分は、減額されます。

○ 本巢市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について

Q: 制度について、職員への周知や説明会の開催予定は

A: 制度の根幹については、庁内のイントラネットで説明する予定です。また対象者には、情報提供及び意思確認制度が新設されますので、職員が60歳となる前年度に、対象となる者に処遇等の情報を提供し意思を確認して丁寧に対応していきます。

文教福祉委員会協議会

現地視察

○ 根尾学園・国指定100周年となった淡墨桜

協議案件(関係部分) 主な質疑の内容

○ 令和4年度本巢市一般会計補正予算(第9号)について

Q: 燃料代が高騰するなかで、材料費も値上げしているが給食費への影響は

A: 調理は加工食品に頼らず手作りを心掛けているため、今のところ給食費の値上げは考えてません。

Q: 学校におけるコロナ対策での適度な換気と冬季の設定温度は

A: 換気をしながらとなるため、室内温度を考慮して都度設定温度を決めています。また、CO₂測定器を使用し適切な換気に努めています。

Q: 設置されている太陽光発電による節電効果は

A: 学校にエアコンと太陽光発電を導入した後、余剰電力売電方式により昼間の電力のうちある程度は発電でまかなっており、節電効果はあります。

報告案件

○ 朝日大学病院から歯科医師及び歯科衛生士の派遣について



▲根尾学園でのオカリナ演奏

●委員会活動●

産業建設委員会

現地視察

- 市道路線の廃止及び認定箇所・(仮称)本巣PA周辺公園・根尾川サイクリングロード・山口頭首工

付託案件 主な質疑の内容

- 市道路線の廃止及び認定について

Q：舗装関係において一部補修が必要と思われる箇所が見うけられたが

A：補修等について指導します。

協議案件(関係部分) 主な質疑の内容

- 令和4年度本巣市一般会計補正予算(第9号)について

Q：ぎふ農業経営者育成発展支援事業について、対象者の要件と8月のみが除かれている理由及び補助金の交付は4月に遡るのか

A：就農に向けての長期研修を行った方が対象となり、県から対象者の通知を受けて行う県の補助事業です。また、今回の対象者は農業大学の生徒の方で8月が夏休みとなることからそれを除くことになり、4月から遡って補助金を交付します。

Q：次年度以降は、補助対象となる新規就農者があるたびに都度補助するのか

A：岐阜県の地域就農支援協議会の中で研修期間が定められており、どの方がどの地域に就農されるか県から通知があるためその都度補助を行います。



▲(仮称)本巣PA周辺公園を視察する委員

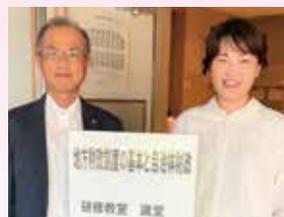
研修・視察

10月

- 11日～13日 令和4年度市町村議会議員研修
「人口減少社会における議会の役割」
高田議員 片岡議員
- 19日～21日 令和4年度市町村議会議員研修
「地方財政制度の基本と自治体財政」
片岡議員 高橋知子議員
- 27日～28日 栃木県下野市行政視察
大西議員 黒田議員 河村議員
高橋時男議員 片岡議員

- 14日～16日 福島県会津若松市行政視察
黒田議員 高田議員
高橋勇樹議員 高橋時男議員
片岡議員

- 21日～22日 令和4年度市町村議会議員研修
「防災と議員の役割」
高橋勇樹議員 瀬川議員



▲地方財政制度の基本と自治体財政



▲令和4年度市町村議会議員特別セミナー



▲福島県会津若松市行政視察



▲防災と議員の役割

11月

- 1日～2日 令和4年度市町村議会議員研修
「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」
片岡議員
- 1日～2日 令和4年度市町村議会議員特別セミナー
臼井議員 今枝議員

本巢市議会・越前市議会 行政懇談会

越前市の紹介

越前市は、県のほぼ中央に位置し、市の中央を関西・中京圏などの主要都市との交通の動脈である北陸自動車道と国道8号が横断しています。また、北陸新幹線が令和6年春頃に敦賀市まで延伸し、市東部に新駅「越前たけふ駅」が設置される予定です。

歴史的には、継体大王伝承に見られるように大変古く、越の国と呼ばれた頃からひらけた地域で、大化の改新のころ越前国府が置かれ、万葉集の歌にも地名が登場するなど、北陸地方の政治・経済・文化の中心地として栄えました。

市の面積は、230.70km²で、県面積の5.5%を占め、森林は市域の6割を占めています。

1500年の伝統を誇る「越前和紙」や700年の歴史を持つ「越前打刃物」に加え、平成25年に「越前筆筒」が、経済産業大臣指定の伝統工芸品となり、伝統産業から電子部品等の先端技術産業まで幅広い産業構造を持ちます。



▲越前市との行政懇談会の様子

本巢市の友好都市である福井県越前市において、昨年10月31日両議会の懇談会を行いました。

かつて、根尾村(現本巢市)が淡墨桜を縁に福井県今立町(現越前市)と姉妹縁組を締結していたのが始まりで、町村合併後の平成18年10月に本巢市と越前市が友好都市の盟約書が交わされました。それ以降両市の議会が交互に訪問し、互いの行政推進に向けて交流を行っています。

今回は越前市に訪問し、「森林経営管理制度の取り組み(森林環境譲与税を活用した事業)について」を共通のテーマとして行政懇談会を行いました。その後、武生中央公園や越前市の議場について見学しました。



▲越前市議会正副議長との集合写真(武生中央公園)

地方財政委員会に出席し、要望書を提出

11月17日(木)、都道府県会館にて第159回地方財政委員会が開催され、大西議長が岐阜県の代表として出席しました。

委員会では、令和5年度政府予算編成・税制改正に向け、地方税・地方交付税をはじめとする一般財源総額の確保・充実などを求める要望書をまとめあげました。また、各地元の国会議員へ作成した要望書を提出することを確認し、後日、要望書を提出しました。

弾正幼稚園の安全祈願祭が行われました

令和4年11月24日(木)、弾正幼稚園建設予定地において安全祈願祭行われました。当日は正副議長をはじめ本巢市議会議員、市長、設計者、工事関係者などが出席し、工事の無事を祈願しました。

堀部好秀議員が議員辞職

令和4年12月28日(水)、堀部好秀議員より辞職願いの提出があり、議長より辞職許可の通知が行われました。

議会開会のお知らせ

◆令和5年2月24日(金) (予定)

定例会の詳細確定後ホームページに掲載します。議会のホームページは右からアクセスできます。



本巢市公式
マスコットキャラクター
もとまる

●特集●

～学校に、地域に、社会全体に、夢を描く子どもたち～ 未来のリーダーが育つ 生徒会・児童会サミット

本巣市教育委員会は、未来の本巣市を創り出すリーダーを育成するために、各学校の代表が集まり議論する生徒会・児童会サミットを行いました。サミットを、本巣市の課題や未来を見据え、議論し、深く考え、創り出す経験を積み重ねる一つの機会として位置付け、今からできることを積極的に考え、議論し、夢を描くことができました。

生徒会サミット in 本巣中学校 (参加校:本巣中・真正中・糸貫中・根尾学園後期課程 参加人数:22名)

◆「本巣市×SDGsを考えるシート」で未来の本巣市を描く

PCやタブレットを使いこなしながら、各学校が校内における生徒会活動の取組を紹介し合うことから始まった生徒会サミットでは、後半、「本巣市とSDGs」をテーマに、「未来の本巣」について、市として取り組めそうなアイデアを話し合いました。SDGsの17の目標をもとに、今の学校や地域、本巣市全体として、十分に取り組んでいることや、今後取り組むとよいことを、付箋を貼りながら明らかにし、どんな本巣市にしたいかを考えました。4～5人で構成される各グループでは、初めて出会ったとは思えないほど、各学校から集まったリーダーが互いの意見を尊重しながら話し合い、「防災に強く環境に優しい本巣市」のために、「個別避難計画を作成したりペーパーレス化をすすめたりすることが必要」などと、未来の本巣市で取り組むとよい施策を、共に創り出すことができました。



▲付箋を貼りながら、自身の意見を明確にしている生徒



児童会サミット in 一色小学校 (参加校:一色小・本巣小・席田小・根尾学園前期課程 参加人数:28名)

◆「見守り隊からのビデオレター」で地域との繋がりを考える

一色小学校の児童による縦割り活動の参観に始まり、「いろいろな人とつながる活動」について話し合った一色小学校会場の目玉は、「一色っ子見守り隊の方からのビデオレター」でした。活動内容やそれを続けている理由だけでなく、これから生きていく児童に願うことは何かを、児童が生まれる前から見守り隊を務めていらっしゃる方に語っていただきました。地域の方の思いや願いに触れた児童は、驚きや感動の声を上げ、「自分たちの地域の方々も、私たちのことを大切にしてくださっているんだ。」と感じ、「地域の方にもっと学校に来て教えてもらいたい」、「発表会で学校に招待して喜んでもらいたい」などと、アイデアを出し合いました。身振り手振りを交えて考えを伝える児童の姿、うなずきながらメモをする児童の姿などから、話し合いの質の高さがうかがえました。



▲まとめた考えを、全体交流の場で伝えている児童



児童会サミット in 真桑小学校 (参加校:真桑小・外山小・弾正小・土貴野小 参加人数:27名)

◆「中学校生徒会役員の生出演」で地域への貢献を考える

真桑小学校の児童による校内ボランティア活動の参観に始まり、「誰かの役に立つ活動」について話し合った真桑小学校会場の目玉は、「真正中学校生徒会役員の生出演」でした。そこでは、中学校のボランティアは活動が幅広く、長い年月をかけて取り組んでいたり、世界に目を向けて取り組んでいたりすることが話されました。「相手の喜びが自分の喜びになるという意識を大切にしてほしい」という、思いや願いに触れた児童は、「小学生の自分たちにも、もっとできることがあるはず」と、地域の中で役立つことへの意欲を高めていました。「私の学校なら、地域でも明るい挨拶をして、喜んでもらえるかもしれない」などと、具体的な場面を紹介し、自分にできることを伝え合いました。お互いのアイデアを共有し合い、自分にできることを決め出す姿から、児童のたくましさを実感しました。



▲具体例を挙げながら、アイデアを交流している児童



議会だより編集特別委員会

◎臼井悦子 ○今枝和子 高田浩視 片岡孝一 高橋知子